

令和5年度イベント開催等委託業務（中山間地域企業誘致促進事業）
公募型プロポーザルの質疑に対する回答について

令和5年4月19日

Q1 当業務内で行う「マッチングイベント」については、企業同士で行うものと、自治体と企業とで行うもの、とがあるが、それぞれ1回ずつ行うという理解で良いか。

A1 お見込みのとおりです。

Q2 マッチングイベントの後に行う個別の商談についても、マッチングイベントと同日で実施する必要があるか。

A2 必ずしも同日で実施する必要はありません。商談を別日に実施する方が効果的であると考えようであれば、そのように提案ください。

Q3 企業同士のビジネスマッチングイベントについて、県において出展企業の想定は既にあるか。また、参加の呼びかけについて県からのサポートがあるのか。

A3 現時点で具体的な企業の想定はありません。
進出企業（県誘致企業）に対しての参加の呼びかけは、県で行うことも可能です。

Q4 市町村勉強会・情報交換会・先進地視察について、事業目的の達成が見込まれるのであれば、原則として現地開催（中部、西部、東部それぞれ1回ずつ合計3回）ということだが、回数や開催手法（現地 or オンライン or ハイブリッド）について、提案依頼書と異なる提案をしても良いか。

A4 構いません。ただし、特定の市町村のみが参加について不利になるようなことがないように、ご注意ください。

Q5 先進地視察について、県内の先進地について県において想定があるか。想定がある場合、視察場所は、中部、西部、東部にそれぞれあって、その視察場所の候補地の情報については、県から提供してもらえるのか。

A5 現時点で、具体的かつ明確な候補地はありません。
なお、県としては、市町村においてシェアオフィスを整備し、当該シェアオフィスに既に県外企業が入居している市町村が候補地になるのではと考えており、これに該当する市町村の情報については、県から提供できます。

Q6 中山間地域での県内外企業交流ツアーについて、1回当たり10社が1市町村のみに訪問する想定か、それとも複数市町村への訪問の想定か。また、3回とも同じ地域に同一の企業が訪問するということがか。

A6 1市町村のみへの訪問を想定していますが、必要に応じて、複数市町村にまたがるエリアを対象として提案いただいても構いません。ただし、3回とも当該エリアで行ってください。

また、3回とも同じ地域に同一の企業が訪問することを想定しています。

Q7 今回提示されている仕様にとらわれず、目標達成のためにより適当なものがあれば、提案してよいか。

A7 事業の課題感を十分に認識したうえで、目的を達成するために適当と思われる企画であれば、代替案などについて、提案いただいても構いません。

Q8 各種イベントにおける県内企業への広報・募集活動に際し、県及び市町村による企業リスト（連絡先）の提示は可能か。また、可能な場合、紹介していただける企業数を教えて欲しい。

A8 県内企業に対しては、受託者が行う広報活動に加え、県や市町村が有するネットワークを活用した広報（本県誘致企業に対する広報、各種業界団体を通じた広報など）も行います。この際の連絡は県や市町村が行いますので、受託者へ企業の連絡先は提示いたしません。

Q9 先進地視察について、「シェアオフィスを活用した企業誘致に積極的に取り組む市町村」とあるが、「シェアオフィス活用」をテーマとした背景は何か。また、「シェアオフィス活用」にとらわれず、企業誘致の先進事例を紹介するという認識で良いか。

A9 県において、中山間地域への企業誘致の促進に向けて、市町村におけるシェアオフィスの整備推進に取り組んでいることから、「シェアオフィス活用」をテーマとして取り上げたところです。

中山間地域への企業誘致促進という観点から、県内市町村にとって参考となる事例でしたら、必ずしもシェアオフィス活用した事例である必要はありません。

Q10 「市町村と進出検討企業とのマッチングイベント」においてプレゼンテーションを行う5市町村は、市町村勉強会と同様に県にて募集を行うという認識でよいか。

A10 お見込みのとおりです。

Q11 令和4年度実施の「高知まるごとモニターツアー」において、首都圏等の企業と地域との継続した交流にまではつながっていないという記載がありますが、参加者の中から高知県への進出につながった企業はなかったということか。また、本ツアーへの参加企業はどのような規模（従業員数）・職種・地域が多かったのか、6つの中のどのプログラムの人気が高かったのか、教えて欲しい。

A11 進出につながった企業の情報について、県においては把握をしておりません。
ツアーへの参加企業は、上場企業から個人事業主まで様々な規模の企業に参加していただきました。企業の属性に関しては、いわゆるIT企業であって、首都圏在住の企業の参加が目立ちました。
プログラムについては、「都市型」の参加希望が圧倒的に多く、それに続き「地域課題解決型」「チームワーク形成型」がほぼ同数、といった状況でした。

Q12 「県内企業同士のビジネスマッチングイベント」における「課題提供側県内企業」は県内中山間地域の企業（市町村）に限らず高知県内全体からの募集という認識でよろしいでしょうか。

A12 お見込みのとおりです。

Q13 先進地視察に参加する市町村職員の旅費は委託費に含まれるか。また、視察先は、県内・県外どちらを想定されているか。

A13 市町村職員の旅費は委託費に含まれません。また、視察先は県内を想定していません。

Q14 各種イベントへの参加について、過去に同様の事業に参加したことのある企業等（例えば、「県内外企業交流ツアー」に、令和4年度実施の「高知まるごとモニターツアー」に参加した企業や既に高知県内に視察に来たことのある企業を参加可として良いか）も対象となるか。

A14 対象としていただいて構いません。なお、契約締結後、具体的な企画検討段階において、県と受託者双方協議のうえ、参加企業の要件を別途定める可能性があります。

Q15 企画提案の段階で、市町村と進出検討企業とのマッチングイベントに参加する5市町村を具体的に提示する必要あるか。

A15 必要ありません。

Q16 「中山間地域での県内外企業交流ツアー」と、「市町村と進出検討企業とのマッチングイベント」との参加企業が重複しても良いか。

A16 重複しても構いません。

Q17 「中山間地域での県内外企業交流ツアー」は全3回、同一の市町村での実施か（複数市町村も提案可能か）。また、企画提案時に具体的な市町村名の提示が必要か。

A17 1市町村のみへの訪問を想定していますが、必要に応じて、複数市町村にまたがるエリアを対象として提案いただいても構いません。ただし、3回とも当該エリアで行ってください。（※Q6への回答と同じ）

また、企画提案時に具体的な市町村名の提示までは必要ありませんが、こういった特徴を持つ地域で実施することが、当該ツアーを通じた新しいビジネスや関係人口の創出等に繋がるのかを踏まえた提案をしてください。

Q18 「中山間地域での県内外企業交流ツアー」の参加者について、高知までの移動手段は航空機が前提となっているが、その他JR等での移動も認められるか。また、その場合の経費負担について、どのようになるのか。

A18 航空機以外での移動も認めます。ただし、その場合の経費は、個人負担を想定しています（当該委託費では負担しない）。